



JAMS NEWS

日本経営システム学会
<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第57回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のことお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第57回全国研究発表大会が平成28年10月15日(土)、16日(日)に札幌大学(北海道札幌市)にて開催されます。札幌大学は、札幌市の豊平区にあり、最寄りの地下鉄駅は、南北線の澄川駅もしくは東豊線の月寒中央駅です。多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：平成28年10月15日(土)、16日(日)

開催場所：札幌大学

〒062-8520 北海道札幌市 豊平区西岡3条7丁目3-1 <http://www.sapporo-u.ac.jp/>

連絡先：実行委員長 堀江 育也(札幌大学) E-Mail: i-horie@sapporo-u.ac.jp

主催：日本経営システム学会

協賛：経営情報学会、社会情報学会、情報システム学会、電子情報通信学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本経営工学会、日本経営診断学会、日本情報経営学会、日本知能情報フレンジイ学会、日本人間工学会

統一論題：「デジタルイノベーションと経営システム」

基調講演：ウェルネット株式会社 代表取締役社長 宮澤 一洋 氏

参加費：会員 5,000円、学生会員 3,000円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000円、非会員学生 4,000円、(当日支払は各 1,000円高)

懇親会費：会員 5,000円、学生会員 3,000円、協賛学会員 5,000円、非会員 6,000円(当日支払各 1,000円高)

昼食：15日(土)は学食(11:00~13:30)、フードコンビニ(10:00~13:30)をご利用頂けます。16日(日)は、学食、フードコンビニは閉店しておりますが、お弁当(800円)の事前予約を承ります。16日(日)のお弁当をご希望の方は、参加費と一緒に振込みください。近隣にはコンビニや飲食店もありますが、事前にネット等でご確認ください。

宿泊：札幌駅(地下鉄・バス約30分)周辺にホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。※近年、外国人観光客増加により札幌市内のホテルの宿泊料が高騰し予約も難しくなっております。各自で早めの手配をお願いいたします。

発表申込：発表申し込みは、学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> の発表申込フォームから申し込みいただくか、ダウンロードした申込書に必要事項を記入の上、メール添付で学会事務局 E-Mail: keieisys@jams-web.jp へ、8月19日(金)までに送信してください。本 JAMS NEWS の発表申込書を学会事務局宛 Fax.03-3371-5185 にご送付いただいても構いません。

原稿締切：pdf および word 入稿または郵送にて、9月9日(金)まで(厳守)、学会事務局宛

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙、または HP の振込み方法を参考にして上記金額をお振込み下さい。期限後に振込まれた方は、当日用紙の控えまたはコピーをお持ち下さい。

■会場設備について

全ての発表会場に PC とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用下さい。データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり準備に時間がかかりますので、ご注意下さい。

■大会会場へのアクセス

地下鉄利用：

○地下鉄南北線「澄川駅」下車の場合
中央バス西岡環状線[澄 73]（西岡3条先回り）、下西岡線[南 71]、西岡線[南 81]、澄川白石線[澄 78]のいずれかで、「札大南門」下車（乗車時間約6分）※タクシーでは、乗車時間約10分、料金800円程度。

○地下鉄東豊線「月寒中央駅」下車の場合
中央バス澄川白石線[澄 78]、または西岡月寒線[月 82]で、「札大正門前」下車（乗車時間約9分）※タクシーでは乗車時間約10分、料金1,000円程度。



※「札大南門」のバス停で下車の場合、大学まで若干距離があり分かりにくいかもしれませんので、事前に下記 Web ページ等で確認してください。

自動車利用：駐車スペースがあり利用可能ですが、駐車場、駐輪場内における事故、盗難、いたずら等については、大学は責任を負いかねます。

交通アクセス http://www.sapporo-u.ac.jp/univ_guide/campus/access.html

キャンパスマップ <http://www.sapporo-u.ac.jp/image/pdf/campusmap.pdf>

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい（もし、ご不明な点がありましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい）。

- ・学生セッションの発表は、正会員（一般的には指導教員）との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とします。

■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と口頭発表の資格：一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、学生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。ただし、学生セッションの単独発表は、正会員の学生に限ります。また、いずれのセッションにおいても、連名発表の場合、口頭発表者をファースト・オーサーとしてください。
2. 学生会員の口頭発表条件：学生会員は、学生セッションで正会員との連名で口頭発表する事ができます。
3. 連名者の資格：研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。
4. 発表件数の制約：同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。
5. 口頭発表者の参加費支払い：口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。
6. 参加費の返還について：既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。
7. 発表のキャンセルと欠席：大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。また、連名発表でファースト・オーサーが病気や事故等やむを得ない理由で口頭発表できない場合は、大会実行委員長もしくは司会者に相談し承諾が得られれば、連名者が代わりに口頭発表できるものとします。

第 56 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 永松 陽明

日本経営システム学会の第 56 回全国研究発表大会が、2016 年 6 月 4 日（土）～5 日（日）、統一論題「オープンデータの活用推進と経営システム」のもとに、横浜市立大学金沢八景キャンパス（神奈川県横浜市）で開催されました。基調講演は、「横浜のオープンイノベーション・プロジェクト」と題し、横浜市の長谷川孝 理事にお話していただきました。特別講演として「日立におけるオープンデータの取組み」と題して、日立製作所の前田みゆきチーフコンサルタントにお話していただきました。両発表とも大勢の参加者があり、発表後の活発な質疑応答がございました。

統一論題で 2 件、研究部会で 14 件（うち学生発表 2 件）、自由論題で 56 件（うち学生発表 20 件）の研究発表がなされました。また、基調講演者、特別講演者、学生ボランティア（9 名）を除き、大会の実参加者は 144 名、懇親会参加者は国際会議の参加者と招待者を含め 82 名でした。今回の大会開催にご尽力いただいた、多くの会員の皆様、理事・評議員の皆様、発表者・司会者の皆様、学会事務局に、そして会場を提供いただいた横浜市立大学に、この場を借りて深く感謝申し上げます。いろいろな不手際がありましたが、おかげさまで無事終了できました。

2015 年度 論文奨励賞について

表彰委員長 川中孝章

【論文奨励賞】

受賞者：小鹿 雅弘（神奈川大学）

対象業績：小鹿雅弘,松丸正延,“線形と非線形技法を用いた倒産判別モデル”,日本経営システム学会誌,Vol.32,No.3,pp.249-257(2016)

受賞理由：本論文は、遺伝的アルゴリズム (Genetic Algorithm: GA)、ニューラル・ネットワーク (Artificial Neural Networks: ANN)、多変量判別分析 (Multivariate Discriminant Analysis: MDA) の 3 手法を用いて、精度の良い倒産判別モデルを構築することを目的とした意欲的な論文である。実際の財務データなどが線形の様々な前提条件を満たしていないことは、長年にわたって知られてきたことであるが、いまだに解明されていない問題である。特に、MDA では線形判別関数を用いているが、倒産企業と非倒産企業を判別する境界線近くに存在する企業をうまく判別できないという欠点を持っている。

本論文は、この欠点を補完する非線形解法の ANN および GA を用いて、精度の良い倒産判別モデルを構築している。さらに、実証分析結果から、GA モデルは使いやすく、倒産企業の予測に際し、他のモデルよりも精度の高い判別力を有しているという結論を導いている。このようなニューラル・ネットワークなどの人工知能を用いた「非線形モデル」を通じて複雑な社会現象を解明することは、大きな期待が寄せられており、本論文はその模範的内容といえる。

以上より、理論面と実務面の両側面で重要度が高く、経営システム学の発展に寄与すると考えられることから、日本経営システム学会「論文奨励賞」にふさわしい論文であると判断する。

※2015 年度は、学会賞は該当者なし。

平成 27 年度第 5 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2016 年 4 月 30 日（土） 15:00～18:00
- II. 開催場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバス・ホール
- III. 出席者：小田、椎原、山下、石田、今井、上原、金子、川中、今野、佐々木、鄭、田畑、村山、毛利、柳田、山田、佐藤、島田、野々山、原田、松岡、水上、水野（監事）石井、松丸（オブザーバー）永松（敬称略）
- IV. 審議事項

- 1.平成 27 年度第 4 回理事会議事録の確認(上原)：平成 27 年度第 4 回理事会議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
- 2.会員の入退会について(上原)：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、2016 年 4 月 28 日現在、正会員 510 名、学生会員 120 名となった。
- 3.第 56 回全国研究発表大会の準備状況について(永松)：第 56 回全国研究発表大会（開催校：横浜市立大学、開催日・開催場所：2016 年 6 月 4 日（土）、5 日（日）、横浜市立大学金沢八景キャンパス、統一論題：オープンデータの活用推進と経営システム）の準備状況（基調講演・特別講演、プログラム、予算編成、懇親会等）についての説明がなされ、承認された。
- 4.第 57 回全国研究発表大会の準備状況について(佐々木)：第 57 回全国研究発表大会（開催校：札幌大学、開催日程：10 月 15 日（土）、16 日（日）、統一論題：デジタルイノベーションと経営システム、開催場所：札幌大学）について説明がなされ、承認された。なお、①発表申し込み締め切りに関して、8 月 19 日(金)厳守とすること、②原稿締め切りの日程を 9 月 16 日(金)から 9 月 9 日(金)に変更することの 2 点の提案がなされ承認された。また、第 58 回全国研究発表大会と第 59 回全国研究発表大会の主催校と日程の調整について説明がなされ、第 58 回大会の開催日程については、再度検討することになった。
- 5.第 36 回通常総会議案書について（上原）：総会資料の作成状況について説明がなされ、文言上、若干の加筆、修正がなされた。また、総会の開会を 13 時から 12 時 50 分、閉会を 14 時から 13 時 50 分に変更し、13 時 50 分から 14 時まで論文奨励賞の表彰式を行う時間を確保することが提案され承認された。今後の修正については会長、総務委員長に一任することが承認された。
- 6.平成 27 年度決算・平成 28 年度予算について（田畑）：平成 27 年度決算、平成 28 年度予算について説明がなされ承認された。また、会員名簿の発行ならびに全国研究発表大会の予備費についての議論がなされ、平成 28 年度予算に新たに計上することとし、財務委員長に一任することが承認された。
- 7.第 36 回通常総会の役割分担について（上原）：総会の議長（総務委員長）、司会（柳田先生）、事業・活動報告並びに計画（椎原先生）、決算報告（田畑先生）、監査報告（松丸先生）、議事録署名人の構成（会長、議長、監事 2 名、その他 2 名）の役割分担を定めた。議事録署名人(その他の 2 名)と書記 2 名の任命は大会実行委員長に確保して頂くことが承認された。
- 8.学会賞・論文奨励賞について（川中）：学会賞・論文奨励賞について説明がなされ、承認された。なお、全国研究発表大会のプログラムに、表彰式開催の旨を掲載しておく方が良いとの提案がなされ、承認された。

V. 報告事項

1. その他（上原）：高橋進名誉会員がご逝去された。規定により退会の手続きを取りたいとの報告がなされた。
- 2.研究（口頭）発表の資格に関する規定類の見直しについて（佐々木）：「研究（口頭）発表の資格に関する規定類の見直しについて」、前回第 4 回理事会での議論を踏まえ、規定委員会、表彰委員会と大会委員会が協議の上「学会発表に関する原則」を改正し、「別表 研究（口頭）発表の資格」を作成したことが報告された。「学会発表に関する原則」は第 57 回全国研究発表大会の施行・適用を目指し、「研究発表規程」については 6 月 4 日開催予定の総会で細則へ変更することの承認を得る方針が説明された。
- 3.会員の種別と要件について（柳田）：会員の種別、状況と要件、全国研究発表大会の資格についての取りまとめが報告され、今後、組織委員会で検討を継続することの報告がなされた。
- 4.学会事務局の Mail アドレスについて(上原)：JAMS 事務局の Mail アドレスを変更方針が報告された。

中部支部共催 第 41 回東海ファジィ研究会（蒲研 2016）開催案内

恒例となりました合宿形式の研究会ですが、今年の宿舎は、以前の JAMS 大会で懐かしい「サンヒルズ三河湾」です。食事も随分美味しくなり、座敷は椅子式になりました。是非、蒲郡での研究会をお楽しみください。

共 催：日本経営システム学会中部支部、日本知能情報ファジィ学会東海支部

開催期間：2016 年 8 月 1 日（月）～ 8 月 2 日（火）

会 場：生命の海科学館 メディアホール 〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17 TEL：0569-68-2001

参加費：一般 4,000 円 学生・名誉会員 2,000 円

招待講演：人間の生活を支援するロボット技術 -センシングから制御まで-

舟洞佑記 先生（名古屋大学 大学院 工学研究科 電子情報システム専攻 助教）

宿 泊 :サンヒルズ三河湾 (地方公務員共済保養所)

懇 親 会 :研究会での討論を活発にするため、懇親会後も研究討論会の時間をもうけております。宿泊に関する情報は後ほど参加者の皆様にメールにてお伝えします。

申込〆切 :2016 年 7 月 8 日 (金)

研究会ホームページ (下記) よりオンライン登録をお願いいたします。

<https://sites.google.com/site/tokaifuzzy/>

なお、JAMS 側の幹事 (小田哲久 : oda@aitech.ac.jp) までメールをいただければ手続きします。

教員公募のご案内

■神奈川大学 専任教員公募のご案内 (特別助教、～2016 7/15 締切)

1. 学部学科等 工学部 経営工学科
 2. 専門分野 経営システム工学分野 (システムモデリングや数理解析, データ分析, 最適化, シミュレーション技術などを基盤とした経営システム工学の分野)
 3. 職名 特別助教 (任期制)
 4. 人員 1 名
 5. 職務内容 専攻分野の研究と教育及び教育・研究の補助
*その他大学、学部において必要と認めた業務があります。
 6. 応募資格 (1)大学院博士後期課程修了者 (修了見込みも含む) 又は同等以上の研究業績を有する者。
(2)着任時に大学、または大学院に在籍するものは応募不可。
(3)経営工学に対して理解のある方が望ましい。
 7. 任期 5 年
- 詳しくは下記の学会 Web ページ 教員公募のリンクをご参照ください。
<http://www.jams-web.jp/images/koubokanagawa2016-013.pdf>
<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/pdf/013.pdf>

■長岡技術科学大学大学院 専任教員公募のご案内 (准教授、～2016 8/1 締切)

1. 職名・人員 准教授 1 名
2. 勤務形態 常勤 (任期なし)
3. 所属 技学研究院
4. 担当専攻 情報・経営システム工学専攻 (経営システム学講座)
5. 専門分野 ICT 経営戦略論、ICT ビジネス論、情報ビジネス社会論、等
6. 職務内容 学部、大学院 (修士課程及び博士後期課程) 学生の教育研究指導及び上記専門分野の研究。
7. 応募資格 博士の学位を有し、上記専門分野に関する学識・経験が十分で、教育・研究、国際交流、社会貢献に熱意を持って取り組む方。
8. 担当科目 学部 2 科目、大学院は「情報・経営英語」を含む 2 科目程度。講義科目は応相談。
9. 応募締切 平成 28 年 8 月 1 日必着
10. 着任時期 平成 29 年 4 月 1 日
11. 応募要領 応募書類その他については、以下の URL を参照のこと
<http://www.jams-web.jp/images/koubonagaoka2016.pdf>
<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/jouhou/img/160614.pdf>

学会事務局メールアドレス変更について

学会事務局メールアドレスの変更を予定しております。今後は新アドレスをご利用下さい。旧アドレスは今年度いっぱいまで廃止を予定しております。お手数をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

新アドレス : keieisys@jams-web.jp

旧アドレス : keieisys@hh.ij4u.or.jp

日本経営システム学会 研究発表申込書

平成28年度 第57回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ()	2. ()
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ()

発表要旨 (200字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					
-----------------	--	--	--	--	--

- 注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。
 2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)
 3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3 バラードハイム 703
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
 E-Mail: keieisys@jams-web.jp (旧アドレス keieisys@hh.ij4u.or.jp)